

新しい「日本脳炎ワクチン」接種が始まりました。

Q:従来のワクチンと新しいワクチンの違いは？

「従来の日本脳炎ワクチン」は、マウスの脳で培養しており、僅かながら脳細胞成分が混入し、ADEM（急性散在性脳脊髄炎）が発症するのではないかということで事実上中止の状態でした。今回の「新しいワクチン」は、ベロ細胞（アフリカミドリザル腎臓由来）を使用した「乾燥細胞培養日本脳炎ワクチン」ということです。使用している日本脳炎ウイルス（北京株）は同じものです。ウイルスを増殖させる培地が違うのです。

Q:ADEM（アデム）の症状は？

ワクチン接種後、数日から2週間程度で発熱、頭痛、けいれん、運動障害が起こる神経系の病気です。ほとんどの患者は正常に回復しますが、10%程度に後遺症が残ります。

Q:ADEMの副反応はどれくらいの頻度？

従来のワクチンでは70~200万回の接種に1回程度の発症でしたが、新しいワクチンでは数百人の接種経験しかなくまだ未知なのです。（従来のワクチンは毎年50~100万回くらい接種されていました。）

Q:なぜ新しいワクチンの接種も積極的に勧奨（すすめること）されないの？

新しいワクチンの製造が間に合わない事とまだ安全性の確認が十分でないからです。

Q:接種対象者と使用可能なワクチンは？

- ① 1期初回（1~4週あけて2回接種）⇒ 新ワクチン（希望により従来のワクチンも可）
- ② 1期追加（初回から1年後）⇒ しばらく従来のワクチン
- ③ 2期（9~13歳未満）⇒ 従来のワクチン
- ④ 1期初回の1回目のみ受けた人 ⇒ 1期初回の2回目として

従来のワクチンでも新ワクチンでも可

- ⑤ 1期（初回、追加）は7歳半までとなっており、それ以上の年齢では現時点では受けられません。但し、来年（H22年度）から一定期間の経過措置を検討中のようです。

Q:日本脳炎の発生状況は？

毎年、東南アジアからインドあたりまで流行しています。中国では年間2~3万人、インド、ベトナム、タイなども数百人から数千人の発症があります。（WHO報告）一方、従来の日本脳炎ワクチンを接種している日本、韓国、台湾は10人以下です。

Q:沖縄での感染のリスクは？

感染したブタを刺したコガタアカイエカが人をさした場合に感染が成立します。人から人への感染はありません。毎年沖縄では、感染したブタが高率にいるため「日本脳炎感染警報」が発令されています。ブタのいる田舎に行く人は、是非ワクチンを受けておいた方がいいと思います。（たまなは）